




講座番号 A10	講座名：
	地球温暖化と海
講師名：東北大学大学院 理学研究科 須賀 利雄	

対象者	未就学児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中高生	大人
			○	○	○

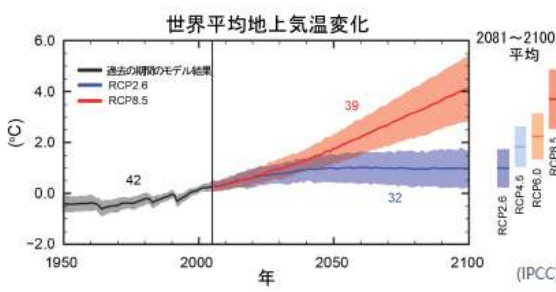
実施会場	<ul style="list-style-type: none"> ・たまきさんサロン ・受講団体が準備 (教室、講義室など)
------	--

対応人数	10人～30人程度 (要相談)
所要時間	60分～90分程度
受講者が準備するもの	プロジェクター、スクリーンなど(応相談)

参考教科 ※1	小3～6 理科 小3～6 社会
参考 SDGs ※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座内容	<p>地球温暖化による気候の変化が進行しつつあり、私たちの生活への影響も今後ますます大きくなっていくと予測されています。地球温暖化のしくみと暮らしへの影響について学びます。</p> <p>○地球温暖化とは？ 気候の成り立ちと、地球温暖化のしくみをわかりやすく説明します。</p> <p>○地球温暖化と海の関係 熱をためる能力（熱容量）が大気の約1000倍もある海は、地球温暖化の実態と将来を考える上で、とても重要です。地球温暖化にともなう海がどのように変化していて、気象災害リスクや食糧供給の問題とどうにかかわっているのかを説明します。</p> <p>○気候の将来予測 地球温暖化によって、21世紀末の気候はどうなるのか？最新の予測結果について紹介します。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 1; padding-left: 20px;"> <p>世界の平均気温の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒：過去の再現結果 青：パリ協定の目標が達成された場合の予測結果 赤：現状以上の対策をとらなかった場合の予測結果 </div> </div> <p>温度は1986～2005年の平均値からの差で示してある。(『日本の気候変動2020』より)</p>
講師よりコメント	日ごろ海となじみのない人の暮らしにも、海のはたらきが大いに関わっています。地球温暖化の問題をよりよく理解するために、海の話聞いてみませんか。
備考	年齢層や興味・関心に応じて、内容を調整します。